

平成19年12月5日

報道機関各位

東北大学東北アジア研究センター

東北大学 東北アジア研究センター公開講演会
「火山と湖の謎を探る」

12月22日、仙台国際センターにて東北アジア地域の自然を対象とする研究をテーマにした公開講演会を開催しますので、お知らせいたします。

今なお火山活動を続けている白頭山（中国名：長白山）では地震活動や土地の隆起など噴火活動の再開を示唆するような現象が発生しており、白頭山の地勢から、噴火が発生した場合、政治や経済を含め東北アジアの様々な状況に対して影響を与えます。今回は火山学的な事項に焦点を絞って白頭山の過去と今についてご紹介いたします。

またロシア連邦西シベリアに位置し琵琶湖の3倍ほどの湖面積をもつ塩性湖（チャニー湖沼群）に生息する生物の食物網、塩分の異なる水域と食物網との関係、さらに気象衛星 NOAA の衛星画像を利用した環境変動調査に関してご紹介いたします。

開催日時：2007年 12月22日（土） 14:30-17:00

開催場所：仙台国際センター 3階 白樫1 入場無料

講演 中朝国境の活火山白頭山の過去と今

谷口 宏充（東北大学東北アジア研究センター 教授）

講演 西シベリアの塩性湖を探る

鹿野 秀一（東北大学東北アジア研究センター 准教授）

（お問い合わせ先）

東北大学東北アジア研究センター

担当：事務室 鴫田 Tel. 022-795-6009

明日香研 明日香 Tel. 022-795-7557

E-mail：asuka@cneas.tohoku.ac.jp

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/img/pdf/071222poster.pdf>